

河川砂防技術研究開発公募(河川技術分野)平成22年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
河川環境のための河床地形管理手法に関する技術開発(研究期間:H22年~H24年)	京都大学 竹門 康弘	A
<研究概要> <p>河川環境保全のための河床地形評価手法として、河床比高の度数分布を用いる方法を開発した。これらの手法を用いて、木津川のたまり、ワンド等の生息場維持に必要な土砂移動量を30,000~50,000 m³/年と推定し、ダムの長寿命化要請、移送実現性ならびに置き土の流送可能性を検討した結果、河床地形管理目標値として、高山・布目ダムから下流移分28,000 m³/年と本川・残流域流送分を併せた54,000 m³/年を提案した。</p>		
<事後評価コメント> <p>河川環境保全のための河床地形評価手法を開発したことや、長期的な土砂動態から、河川管理者と管理手法について検討するための基礎的な知見が得られたことなど、研究目的は達成され、十分な研究成果があったと言える。 提案された管理手法の実装については、細かい点で課題は残っており、関係する学問分野も広範囲に及ぶため、今後も河川管理者との検討を重ねて、手法の改善が進むことが期待される。</p>		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い